



【資料- 1】



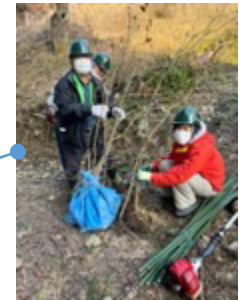
NPO法人
北摂里山文化保存会

2021年度 活動報告書

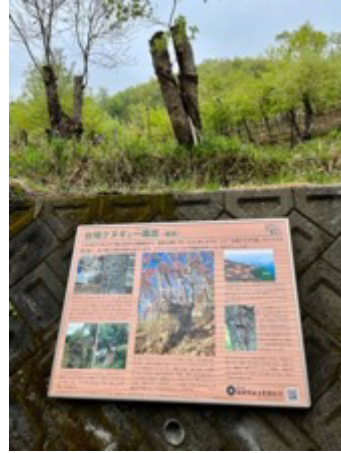
①「台場クヌギの森」の保全・整備

■ 川西市黒川字大谷の里山「台場クヌギの森」の保全・整備活動を行った。

活動日		活動内容	参加者
2021年	5月16日	エドヒガン周りの雑木の伐採	3人
	5月25日	エドヒガン周りの雑木の伐採	3人
	6月23日	エドヒガン周りの雑木の伐採	6人
	7月25日	エドヒガン周りの雑木の伐採 入り口付近の雑草の刈り払い	3人
	8月22日	小学校の授業で使用する木の切り出し クワガタムシの生育環境づくり	4人
	9月19日	クワガタムシの生育環境づくり 台場クヌギ周辺の雑木の伐採	4人
	10月24日	台場クヌギの日照を遮っているヒノキの伐倒	5人
	11月28日	台場クヌギの日照を遮っているヒノキの伐倒	7人
	12月19日	入り口付近の雑草の刈り払い	3人
	12月25日	伐倒したヒノキの枝落とし	4人
2022年	1月16日	クヌギの苗木を植樹 入り口付近の雑草の刈り払い	6人
	2月11日	植樹したクヌギの苗木の周りに鹿除けの柵を設置 台場クヌギの日照を遮っているヒノキの伐倒	7人
	2月23日	台場クヌギの日照を遮っているヒノキの伐倒	4人
	3月13日	伐倒したヒノキの枝落とし	2人



- 「台場クヌギの森」の入り口に、台場クヌギと炭焼の関係を解説するパネルを設置した。パネルは全面道路からも読める場所にあるので、多くの人々に里山の重要性をPRできる。



- 10月16・17日に神戸メリケンパーク（神戸市）で開催された「ひょうごふれあいの祭典（兼・ひょうごエコフェスティバル）」に出展し、北摂の里山や台場クヌギ、炭焼きなどをアピールするパネルを展示し、参加者に説明した。



- 日本原セッション「未来へ伝える里山（北摂里山博物館）の原風景～～日本一の里山・黒川地域の共創活動～～」と、保存会の取り組みを自己紹介した。



のポスター」の重要性

- 2022年1月12日～24日にアステギャラリー（川西市）で開催された「川西市内自然活動団体活動パネル展示会」に出展し、台場クヌギや保存会の活動をアピールするパネルを展示しました。



- 11月6・7日に、里山の情報を発信するイベント「北摂里山の日2021」を開催した。
- 6日は第1部「古写真で語る北摂里山」として、川西市黒川の妙見ケーブル黒川駅前(旧・黒川銀座)にある「はせや旅館」に近畿大学教授の田中晃代氏を講師に招き、黒川に残された古写真を題材に里山に生きる人々の生活や文化を解説するセミナーを開催した。参加者は24人だった。
- 7日は第2部「里山と京から考える海ごみ」として、北摂と京北(京都市)をオンラインで繋ぎ、海洋プラスチックをテーマに講演やフォーラムを開催・配信した。



北摂里山の日 2021

\ HOKUSETSU SATOYAMA DAY /

11/6 土

13:30~15:30

第一部 古写真で語る北摂里山

会場: 国崎クリーンセンター啓発施設
ゆめほたる 2階研修室
定員: 30名程度(地域のみなさん優先、当日先着順)
午前は古写真鑑賞のフリータイム
13:30~14:20 基調講演(近畿大学 田中晃代教授)
14:30~15:30 地域のみなさんと思い出話
・コロナ禍の影響により、YouTube 配信実施
・場合により催事そのものをオンラインにする場合もあり

基調講演
近畿大学 田中晃代 教授



メインスピーカーにご登壇いただき、学生さんたちと一緒に過ごした里山について語っていただきます。

11/7 日

10:00~16:00

第二部 里山と京から考える海ごみ

~北摂里山・京北(京都市内の里山地域)共催企画~

生中継: 北摂里山、京北など
定員: 500名
配信: ZOOMウェビナー パスワード: 224646
QRコードを読み取ってください⇒

午前 中継1: 北摂里山 / 中継2: 京北 (各約50分)
午後 フォーラム「里山と京から考える海ごみ」
基調講演1「人と里、そして海」
基調講演2「人と里海、そしてプラスチック」

基調講演
兵庫県立人と自然の博物館 中瀬聡 館長



基調講演1
「人と里、そして海」

京都大学大学院地球環境学 浅利美鈴 准教授



基調講演2
「人と里海、そしてプラスチック」

アドレスから情報の確認が出来ます。

■ゆめほたる <http://www.kunisakicc.jp/>
■NPO法人北摂里山文化保存会
<https://daiba-kunugi.com/top/project/satoyamaday2021/>

「海洋プラスチック」をテーマに、里山や「海」や「プラスチック」について考えます。

【共催】京都市南部クリーンセンター環境学習施設(さすな京都、(五十番町) 京都超SDGsコンソーシアム(京都市、京都大学、他)、近畿大学田中晃代研究室、国崎クリーンセンター啓発施設(ゆめほたる)、NPO 法人北摂里山文化保存会

【後援】北摂里山博物館運営協議会

二〇一九年十一月
シンポジウムやギャラリー展示
開催から二年...新たに
見つけた古写真
を通して、
若い世代と共に
北摂里山
暮らしについて考え、
大切な思い出を
次世代につなぐデー。

オンライン
開催

④「みんなの森のウッドデッキ」の管理

- 「みんなの森のウッドデッキ」(川西市黒川公民館裏)のメンテナンスを行った。
- 12月4日に、整備した保存会とNPO法人コクレオの森のメンバーが現地に集まり、ウッドデッキにニス塗りをしたり、破損箇所が無いかなどの点検を行った。
- 作業の合間には、ピザ窯で焼いた手づくりピザを食べて楽しんだ。



⑤黒川研究の支援

- 二人の大学生（近畿大学及び大阪大学）がそれぞれ、卒業論文のテーマに黒川を取り上げて研究を行った。大学生が保存会に研究の支援を要請して来たので、保存会が保有する子写真などの資料を提供したり、地元住民を紹介したりするなどの支援を行った。
- それぞれの研究の結果を住民たちと共有することを目的に、2022年1月29日に黒川公民館で、「大学生による黒川研究中間報告会」を開催した。

大学生による

NPO法人 北摂里山文化保存会

黒川研究中間報告会

2021年、二人の大学生が黒川を題材にそれぞれ研究を行いました。
研究の成果は卒業論文としてまとまろうとしています。
論文の完成を前に、研究の成果を黒川にお住まいの方や、
黒川に関心のある方に向けて報告します。

発表1
【研究テーマ】
古写真を用いた農村集落における
子どもの遊び空間の変遷について
～兵庫県川西市黒川を事例として～
【研究者】
近畿大学総合社会学部・岡崎青空さん

発表2
【研究テーマ】
里山林の土地被覆変化の復原
～川西市黒川地区を事例として～
【研究者】
大阪大学文学部・野村健さん

【日時】 1月29日(土) 午後2時～4時
【場所】 川西市黒川公民館・第1講座室
(川西市黒川字谷垣内295番地)

※予約不要・入場無料



【新型コロナウイルス感染予防について】 ●ご来場の際はマスクの着用、手指の消毒をお願いします ●発熱のある方や体調がすぐれない方はご来場をお控えください ●会場内は換気のため定期的に窓を開けます。その際、室温が下がることをご了承ください ●国や地方公共団体からの指導に基づき、会場での開催をオンライン開催に変更することがあります。その場合は、主催者のウェブサイトなどでお知らせします。

主催：NPO法人 北摂里山文化保存会 協力：国崎クリーンセンター啓発施設
(お問合せ) info01@daiba-kunugi.com website: <https://daiba-kunugi.com>

